

北陸農政局長賞に選ばれた奥越特別支援学校の高等部代表生徒と近藤智美栄養教諭(後列左)=15日、勝山市の同校



## 地産地消の優良活動

### 奥越特別支援学校

### 北陸農政局長賞に

地産地消の優良活動をたたえる農林水産省北陸農政局の本年度表彰で、勝山市の奥越特別支援学校が教育関係部門の北陸農政局長賞に選ばれた。同局によると、特別支援学校の受賞は初めて。15

日の全校集会で報告され、生徒たちは喜びを分かち合った。同校は地産地消を推進する地域づくりを目指すと、高等部農業班を中心に学校敷地内の農場で栽培した野菜を販売。給

食で出る野菜くずやコマのとき汁を堆肥として利用している。高等部食品加工班は野菜を使ったパンを手作りし、校内カフェや県庁で販売。地元産の大豆を使ったみそも作り、給食や調理実習、パン作りに活用している。給食の地場産食材使用率は7割を超えるなど熱心な取り組みが評価された。担当の近藤智美栄養教諭らの指導を受け、作っ

た人の顔が見える地産地消の活動を進めてきた生徒たちは自信をつかんだ様子。高等部3年の佐々木健太さんは「受賞は驚いた。活動が認められてうれしい。これからの励みにもなる」と喜びを口にした。

(竹内史幸)